

第4次行動計画数値目標の達成状況

		項目	担当課	基準		目標		令和5年度(年)		
				年又は 年度	基準値	年又は 年度	目標値	実績	達成率	備考(※1)
◎意識づくり	1	サイバーセキュリティ講話の受講者数	サイバー犯罪対策課	H29～R元の平均	12,599人	毎年	13,000人 大改訂 31,000人以上	39,274人	127%	令和5年度の目標値については、令和3年度、4年度に目標値を超え、令和4年度の実績値などを踏まえて13,000人以上から31,000人以上に変更している。
	2	交通安全教育の受講者数	交通企画課	H27～R元の平均	461,014人	毎年	42万人以上	319,659人	76.1%	新型コロナウイルスの流行による社会生活の変化等が、受講者数に影響を及ぼしていると考えられる。
	3	県民への薬物乱用防止に係る講演会等の開催回数	業務行政室	H28～H30年度の平均	108回	R7年度	110回以上	30回	27.3%	新型コロナウイルス感染症の影響により講習会等の中止や開催自粛が相次ぎ減少したまま、基準値ほどの開催状況に戻せていない
	4	薬物乱用防止教室・非行防止教室の参加人数	人身安全・少年課	R元年	77,469人	毎年	8万人以上	74,531人	未達成	非行防止教室の回数が基準である令和元年より少なく(－56回)目標人数に達しなかった
	5	犯罪被害者等支援に関する広報・意識啓発活動の対象者数	交通・地域安全課	R元年度	74,400人	毎年度	75,000人以上	77,654人	103.5%	
	6	安全・安心に関する情報発信数	生活安全企画課	R元年	3,442件	毎年	3,500件以上	3,325	95.0%	防犯講話等の対面型活動が再開されたことにより、非対面型の情報発信活動の回数が若干減少したため
◎地域づくり	7	防災推進員の新規養成者数	危機管理課	R2年度	120人	R7年度	120人	116人	96.6%	申込後の当日欠席によるもの(壱岐市:1人、諫早市:5人)
	8	県管理の公共施設(河川、道路、海岸、港湾、漁港、都市公園、砂防施設)において、ボランティアによる清掃、美化活動を行う愛護活動回数	土木部各課 ※2	H27～R元年度の平均	3,270回	毎年度	3,300回	2,847回 (R6.2末現在)	86.3%	団体の構成員の高齢化等により、活動回数が減少したため。
	9	長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり宣言参加団体数	交通・地域安全課	R元年度	260団体	R7年度	430団体	371団体	100.2%	※R5年度目標は370団体
	10	「ながさきファミリープログラム」の参加者満足度	生涯学習課			R7年度	満足度 90%以上	99%	110.0%	
	11	放課後児童クラブ待機児童数	こども未来課	R元年度	29人	R7年度	0人	35	－20.7%	新興住宅地等で利用希望者が増加しているが、施設の入人数が追いついていない。
	12	非行少年総数の抑止	人身安全・少年課	R元年	194人	毎年	前年を下回る 非行少年総数	191人	未達成	前年が127人であり、+64人であった。
	13	高齢者を守るための防犯講習の受講者数	生活安全企画課	H29～R元の平均	28,355人	毎年	3万人	13,464人	44.9%	新型コロナウイルス感染症は、5類移行したことから昨年より高齢者の防犯講話参加人数は、増加したが目標の人数は達成できなかった
	14	権利擁護に関する研修の受講者数	長寿社会課	R元年度	361人	毎年度	500人	集計中		
◎環境づくり	15	高齢者の暮らしを支える有償ボランティア等助け合い活動を行う団体数	長寿社会課	R元年度	70団体	R7年度	330団体	集計中		
	16	県管理の国県道で交通安全整備事業として、今後5ヶ年で整備する歩道の延長	道路維持課			R3年度～ R7年度	12.5km	7.5km	60.0%	目標通りの整備が実施できている
	17	児童生徒に対し防犯教室を実施している学校の割合	児童生徒支援課	H30年度	91.8%	R7年度	100%			統計値は10月頃に算出
	18	関係機関や地域の団体、PTA等と連携して、登下校時の見守り活動をしている学校の割合	児童生徒支援課	H30年度	100%	R7年度	100%維持			統計値は10月頃に算出

※1:令和5年度の実績が目標に達しなかった場合、その理由等を備考欄に記入願います。

※2:土木部各課は、河川課・道路維持課・港湾課・砂防課・漁港漁場課となります。